



# SPARROWS PAPER

「YA(ワイエー)」は Young Adult の略で、「若い大人」という意味のことばです。  
主に13歳から18歳までのティーン世代を指します。  
泉図書館では1階に中高生の皆さん向けの本を集めた「YAコーナー」を設けています。

## みんな違って みんないい

人はそれぞれに好きなこと苦手なこと、国が違えば文化や暮らしの違いもあります。  
お互いの違いを受け止めて、その人らしさをみんなで大切に思い合えたら良いですね。  
今回は多様性について考えさせてくれる本を選んでみました。

### あおいらくだ

茂田 まみこ・長村 さと子/作 楓 真知子/絵  
北樹出版 Taj カ

あおいらくだは旅の途中、茶色のらくだと出会いました。  
2匹は、色の違いや、考え方の違い、生きてきた環境の違い、  
いろんな違いを見つけていきます。お互いの違いを受け入れ  
られたとき、2匹の見る世界はどう変化して見えてくるので  
しょうか？

### 君色パレット いつも側にいるあの人

多様性をみつめるショートストーリー

高田 由紀子 ほか/著 岩崎書店 Td キミ

ネイルが好きな男の子と指に障がいのある幼馴染との物語、  
ヴィーガンの母と暮らす家族の物語、2人の母親を持つ中学生  
の物語など多様性をテーマにした4つの物語が描かれた短  
編集。いつも側にいてくれる大切な人について改めて見つめ  
なおすきっかけになってくれますよ。

図解でわかる

### 14 歳からの LGBTQ+

社会応援ネットワーク/著 太田出版 Tb360

SDGs の目標にもある「ジェンダー平等の実現」。多様性を求  
められる近年において複雑なジェンダーの問題を性のあり方、  
日常生活、法律・制度、文化・表現の4つのパートに分けて図  
解で詳しく解説しています。「誰も置き去りにしない世界」を  
目指して学んでみませんか？

### ぼくはイエローで

ホワイトで、ちょっとブルー

ブレイディみかこ/著 新潮社 Td916 フ

英国のとある中学校へ進学を決めた「ぼく」。そこは元・底辺  
中学校と言われていた学校でした。人種差別や貧富格差、様々  
な問題が日常的に起こる学校で、日本人でアイルランド人の「ぼ  
く」と家族が送る海外生活。これからの時代、相手の立場に立っ  
て考える力の大切さを感じます。

### SDGs ダイバーシティ BOOK

未来の授業 みんなが“生き、活かされる”社会をつくる

佐藤 真久/監修 宣伝会議 Tb370

ダイバーシティとは日本語で「多様性」という意味です。  
SDGs の掲げる「ジェンダーの平等」において国籍や障がい、  
人種に関わらず多文化共生社会に向けた様々な企業の努力を知  
ることのできる1冊。これからの働きだす未来、自分が自分ら  
しく生きるためのヒントが見つかるかもしれません。



- ・まんがクラスメイトは外国人 入門編 はじめて学ぶ多文化共生  
「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会/編  
明石書店 Tb330
- ・性の多様性ってなんだろう？  
渡辺 大輔/著 平凡社 Ta369
- ・みえるとかみえないとか  
ヨシタケ シンスケ/さく アリス館 Taj ヨ
- ・北欧に学ぶ小さなフェミニストの本  
サッサ・ブルーグレン/作 岩崎書店 Tb360

## すばらしい空のを見つけかた

武田 康男／写真・文 草思社 Tb451

ふしぎな形の雲、きれいな夕焼けや虹、オーロラ…この本には進歩し続ける撮影技術によって撮影されたすてきな写真が満載です。また、これらは天気にも左右されるため、奇跡の一枚でもあります。どうして、どんな時に写真のような空が見えるのか、空の科学についても詳しく解説しています。思わず空を見上げたくなる一冊です。



乙女の本棚

杯

森 鷗外／著 立東舎 Td オト

おそろいの藍色のゆかたを着て、おそろいの赤いリボンをつけて、おそろいの銀の大きな杯で泉を汲んで飲む7人の少女たち。そこへ、鼠色の洋服を着て、黄金色の髪に黒いリボンをつけた8人目の少女が現れる。「わたしはわたし」そんなメッセージとともに集団と個人について考えさせられる森鷗外の名作とイラストレーター・今井キラのコラボレーション。小説としても画集としても楽しめる乙女の本棚シリーズの新作です。

仙台市図書館の新作ライトノベル



あやしバイオリン工房へようこそ  
奥乃 桜子／著 集英社 Te オク

楽器販売店を突然クビにされ、衝動的に仙台行きの夜行バスに乗った富沢恵理。傷心を癒やしながらかやき並木を歩いていると、どこからかバイオリンの音が聞こえてきた。音につられて入ったのは「あやしバイオリン工房」という店で、男性店員だと思って話かけたのは、なんとバイオリンの名器ストラディヴァリウスの精だった。バイオリンの精が見える恵理は、成り行きで工房に持ち込まれる不思議な事件に巻き込まれていく。



YA コーナーの新作おすすめ本

## ふつうの材料だけで作る 新しいおうちカフェスイーツ

megu'café／著 KADOKAWA Tc596

見た目もかわいいカフェで出てくるようなおいしいスイーツが、スーパーやコンビニ、100円ショップなどの身近な場所で買える「ふつうの材料」で作れちゃう！しかも、おうちで再現しやすいよう、余分な工程をできるだけ省いた作りやすさも追求しています。友達をよぶもよし、一人で楽しむもよし、カフェ気分を味わっておうち時間を豊かにしてみませんか。

## ほかにも！

- ・人類の物語 世界はちがう人どうしてできている  
ユヴァル・ノア・ハラリ／著 河出書房新社 Tb200
- ・やなやつ改造計画  
吉野 万理子／著 あすなる書房 Td ヨシ
- ・図書館のゆるゆる人生質問箱  
北海道斜里町立図書館／著 ワニブックス Ta150

## 大正箱娘 1~2

榴岡図書館

紅玉 いづき／著 講談社 B コウ

新米の新聞記者、英田紺が勤める帝京新聞に一通の手紙が届いた。旧家の蔵で見つかった呪いの箱を始末してほしいという内容だった。奇妙な依頼に困った上司の小布施は、紺を神楽坂にある箱屋敷と呼ばれる館に向かわせる。そこには、回向院うららという美しい少女がいて、「箱」のことなら何でも解決できるという噂であった。箱に詰まった謎と秘密を箱娘と新米記者が解き明かす。

## 雨上がりの空に 君を見つける

菊川 あすか／著  
スターツ出版 Te キク

高校の入学式以来、人の感情が色で見えるようになった雨沢花蓮。おかげで空気を読むのが得意で、周りに合わせて無難に学校生活を送っていた。しかし、同じクラスの里美蒼空だけは感情の色が見えないので、蒼空に対してどんな態度を取るのが正解か分からない。自分の言いたいことをはっきり言う蒼空と関わるうち、花蓮は、次第に本音を言えない息苦しさに気付いていくのだが…。



今年も泉図書館 YA 図書委員会の募集が6月15日(日)に始まります！

詳しくは、募集のチラシや仙台市図書館 HP、X (旧 Twitter) をチェック！

★ 本が好きな人、図書館の仕事に興味がある人、ご参加お待ちしております！



Webでも「泉図書館 YA 通信すばろーずペーパー」がご覧いただけます！ [https://lib-www.smt.city.sendai.jp/page\\_id237/page\\_id240](https://lib-www.smt.city.sendai.jp/page_id237/page_id240)